2022　有機資材確認書（加工・小分け・輸入）

送付先：（E-mail: jas@accis.jp）（FAX：011-375-0193）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 認証事業者名（会社名） |  | 提出日 | 年　　月　　日 |
| 記入者名 |  |

有機製品に関しての現在の管理状況について、

下記①～③にご回答のうえ、へご送付ください

①水の使用について

※原料や製品に対しての水の使用について、該当するものに○印を記入ください

(機械・器具の洗浄の水は除きます)

|  |  |
| --- | --- |
|  | a) 原料・製品に、水は使用していない |
|  | b) 生産行程の中で、水を使用している　(原料の洗浄水、工程で使用するなど) |

①で　「b）」 を選んだ場合、該当するものに○印を記入ください

|  |  |
| --- | --- |
|  | (1) 使用している水は、水道水または飲用適の地下水(注1)である |
|  | (2) 電解水(注２)の生成器を用い、電解水を使用している |

|  |
| --- |
| 上記(2)の場合、→適合している電解水であることがわかる「仕様書」を提出ください |

　　　(注１) 地下水を飲用適にするために、塩素を添加することは認められています

　　　(注２)「適合：食塩水を有隔膜電解槽で電気分解した水」であることの確認が必要です

②蒸気(スチーム)の使用について

※原料や製品に対しての「蒸気」使用について、該当するものに○印を記入ください

(機械・器具の洗浄は除きます)

|  |  |
| --- | --- |
|  | a) ボイラーの蒸気は、全く使用していない |
|  | b) 蒸気を使用しているが、ボイラーには「清缶剤」を投入していない |
|  | c) 蒸気を利用しているが、蒸気が直接製品・原料に触れない方法で使用している |
|  | d) ｢清缶剤」を使用しているが、蒸気から「清缶剤」の影響を除くための設備を利用している（スチームヘッダ、セパレータ、トラップなどの、ドレン除去能力を利用） |
|  | e) 蒸気を使っているが、よくわからない |

③防虫防鼠について

※施設で行っている防虫防鼠対策について、該当するものに○印を記入ください

|  |  |
| --- | --- |
|  | a) 防虫防鼠について、全く対策を行っていない |
|  | b) 衛生管理の専門会社に委託して、有機管理下での防虫防鼠対策を行っている |
|  | c) 自社で、防虫防鼠対策を行っている |
|  | d) その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

　　　③で　「ｂ）」を選んだ場合

|  |
| --- |
| →有機的管理について記載のある「委託契約書」の保管をお願いします「施工報告書」と合わせて、実地検査時に検査員にご提示ください |

③で　「ｃ）」を選んだ場合、防虫防鼠対策について、該当するものに○印を記入ください

|  |  |
| --- | --- |
|  | (1) 粘着式トラップ、ネズミ捕り、捕虫器など、物理的な対策のみで対処しており、薬剤を使用していない |
|  | (2) 防虫防鼠対策に資材・薬剤を使用している　（物理的防除との併用も含む）（「フェロモントラップ」をお使いの方はこちらをお選びください） |

|  |
| --- |
| 上記 (2）の場合、①下の「防虫防鼠資材一覧」に使用している資材名（商品名）を記入ください②「商品仕様書」を入手して、コピーをご提出ください（インターネットからの商品仕様書でも結構です） |

防虫防鼠資材一覧

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 申請番号**※1** | 商品名 **※2** | 提出書類枚数**※3** |
| **１** |  |  |
| **２** |  |  |
| **３** |  |  |
| **４** |  |  |

※1提出する商品仕様書は、右上角に申請番号を振って、どの商品の書類かわかるようにしてください

※2商品仕様書に記載されている名称を記入してください

※3商品仕様書のコピーをへお送り下さい